

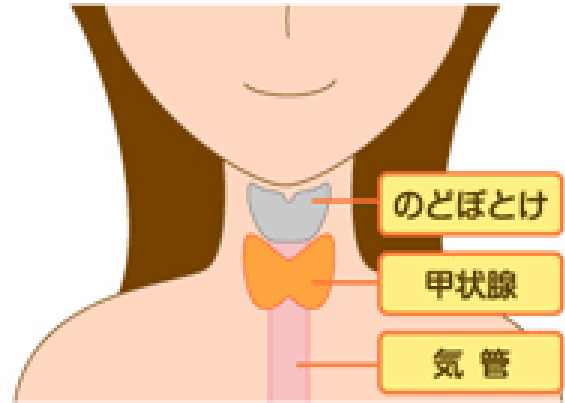
こうじょうせん

『甲状腺』って知っていますか？



どこにあるの？…

甲状腺は誰もが持っている臓器です。
のどぼとけのすぐ下で、首の前方に存在しています。その形は蝶が羽を広げた姿に似ています。
大きさは縦に4cm、厚さ1cmぐらいで、重さは通常15～20gほどです。
正常の甲状腺は首を触っても小さく柔らかいのでわかりません。



何をしているところ？…

脳からの指令を受けて、甲状腺は主に次の4つの働きをするホルモンを作り出しています。

- ① 基礎代謝を上げる。
- ② 心拍数を増加させる。
- ③ 糖分の吸収を促進させる。
- ④ 身体・脳や骨格の成長・発育を促す。

つまり全身の代謝や活動を活発にする、車のアクセルのようなものです。

甲状腺の働きが悪くなるとホルモンの分泌に乱れが生じて、さまざまな症状が現れます。



どんな病気があるの？…

甲状腺の病気は若い世代から中高年まで幅広い世代の方にみられ、女性に多いという特徴があります。

甲状腺の病気と一口に言っても、しこりができるものや、痛みを伴うもの、甲状腺が腫れて大きくなるものなどさまざまです。甲状腺が腫大すると、鏡を見て自分で気付く方もいます。もし病気があったとしても治療を必要としないものや、通院・手術が必要となるものがあり、その治療方法は多彩です。

ここでは、代表的な病気とその症状を説明します。当てはまる点がないかチェックしてみてください。中には甲状腺以外の病気の場合もありますが、どのような病気でも早く気付いて治療をすることが大切です。



バセドウ病…

甲状腺機能亢進症の1つで、甲状腺ホルモンが必要以上に分泌されて、全身の代謝が活発になりすぎてしまう病気です。

1000人中2～6人いるといわれ、女性患者が男性患者より5倍と多いのも特徴です。

橋本病…

甲状腺機能低下症の1つで、慢性甲状腺炎ともいいます。

甲状腺ホルモンが不足して、全身の代謝が悪くなる病気です。

20～30人にひとりの頻度で見られ、女性では男性に比べて20倍の確率で発症するといわれています。

バセドウ病で見られる症状

- 首の前方が腫れてくる
- よく食べているのにやせてくる
- 安静にしているのに胸がドキドキする
- 体がだるく、疲れやすくなる
- 汗をかきやすくなる
- 指先が細かく震える
- イライラして落ち着かないことが多い

橋本病で見られる症状

- 首の前方が腫れてくる
- 食欲がないのに太ってくる
- 朝起きたときに顔や手がむくむ
- 体が冷え、寒がりになる
- 肌が乾燥し、カサカサになる
- 無気力になることが多い
- 動作が鈍くなる



どんな検査をするの？…

甲状腺の検査には、採血検査や超音波検査があります。

採血検査は、甲状腺ホルモンの量から甲状腺の働きを調べます。

一方、超音波検査は首の断面写真を装置でなぞりながら撮っていく検査で、甲状腺が腫れて大きくなっていないか、しこりが出来ていないかを調べます。この検査は痛みを伴わず、繰り返し行っても安全です。

当院では、超音波検査は診察当日に予約なしで行うことが可能です。

(採血結果は1週間から10日でわかります。)

バセドウ病や橋本病の症状に該当する点がある方、その他にも気になる症状がある方はお気軽に医師に相談して、ぜひ超音波検査を受けてみて下さい。